

日 進 月 歩

【にっしんげっぽ】
絶え間なく、日々進歩すること

令和7年 仕事始め・安全祈願祭



令和7年の仕事始めにあたり、今年一年の全社員の健康と工事の安全を祈願し、安全祈願祭を執り行いました。社長もお話されていましたが、世の中は日々、発展・進歩しています。その流れに、乗り遅れることなく、挑戦することが大切です。「挑戦し続ける企業」「現状維持は後退」この言葉を、忘れずに意識することが大切です。

人生は下るエスカレーターを逆走しているのと同じです。止まっていると、現状維持に見えても下っているのです。歩き続けてようやく現状維持です。成長するためには、駆け足なり、全力で走らなければ周りにドンドン追い抜かれていきます。現状維持に満足せず、日々の精進と挑戦を忘れずに走り続けましょう！

より密な報告体制を築くためには、素直な心が大切！

松下幸之助

【素直な心になるために】



松下幸之助が
大切にしていた
「素直な心」

いちばん大切なことは、お互い人間それぞれにはもともと素直な心になる素地があるということ、はっきりと認識することだと思います。つまり特別の修行をした特別の人間だけが素直な心になれるというのではなく、素直な心になることを常に心がけ、自分なりに工夫をこらしていくことで、誰もが素直な心になれるということです。松下幸之助は、努力次第で「誰もが素直な心になれる」と言いました。

大切なのは「悪い情報」

ナポレオン・ボナパルト

よい報告は
翌朝でよいが、
悪い報告は即刻
我れを起こせ。



ナポレオンの名言に、「私が眠っている間に良い知らせが来た時は起こすな。だが、悪い知らせだったら必ず起こせ。なぜなら、その時は一刻の猶予もできない時だからだ」というものがあります。

人間は誰しも、良い情報を歓迎しますよね。

ですが、本当に大切なのは「良い情報」ではなく、「悪い情報」なんです。仕事をしていく上では『報連相』（ほうれんそう）が大事だといわれています。

『報連相』とは、「報告」・「連絡」・「相談」のことで、必要な内容を、必要な時に、必要なだけ伝えたり、受けたりするコミュニケーションのことです。

お互いの情報が、仕事の進め方や取り組み方、調整に大きく影響するため、この『報連相』が大切です。

最悪の状態とは、悪い情報が入ってくるのではなくて、悪い情報が入ってこなくなることだと言えるのかもしれませんが。